

外国人介護人材受け入れ制度研修会

<第1回 研修会報告> 「外国人介護人材受入制度について」

- 1. 日時 令和元年12月17日（火） 午後6時30分～午後8時00分まで
- 2. 場所 佐久市佐久平交流センター 2階 第5会議室
- 3. 研修会 講師 学校法人佐久学園 佐久大学信州短期大学部 福祉学科
准教授 廣橋 雅子氏
- 4. 参加者 佐久市・小諸市内介護事業所 31名
- 5. 内容 外国人材導入の背景、外国人導入に直面する課題、共生のための協力体制等、外国人材受入に関する基礎的な知識の習得や、導入に際し考えるべき課題について研修会を企画・開催。



業務時間後にも関わらず、多くの介護事業所の皆さんがご参加くださいました。
深刻化する介護人材不足解消に向けた、外国人材の関心度の高さ・期待が伺えました。
今後の研修については、実際の事例の紹介、育成・指導に関する内容についての要望が多く聞かれました。
また、学習環境・生活支援、コミュニケーション・異文化理解などの具体的支援内容についても研修の機会を望む声が聞かれました。

<第2回 研修会報告> 「介護の異文化協働について」

- 1. 日時 令和2年2月18日（火） 午後6時30分～午後8時00分まで
- 2. 場所 佐久市佐久平交流センター 2階 第5会議室
- 3. 研修会 講師 学校法人佐久学園 佐久大学信州短期大学部 福祉学科
准教授 廣橋 雅子氏
- 4. 参加者 佐久市・小諸市内介護事業所・佐久大学講師含 44名
※管理者の他、現場で外国人材の指導・教育にあたられている方や外国人と共に働く職員の方も対象とし、多くの介護職員の皆さんがご参加くださいました。
- 5. 内容 今後増加が見込まれる外国人との協働・共生社会の実現に向け、異文化を知ることの大切さを理解する研修会の企画・開催。

第2回は異文化研修ということで、グループワーク形式で行いました。
グループ同士で意見交換するなど、とても和やかに研修会が進みました。

グループワーク その1 食事の場面
～目の前にある食器をいつも通りに並べてください～

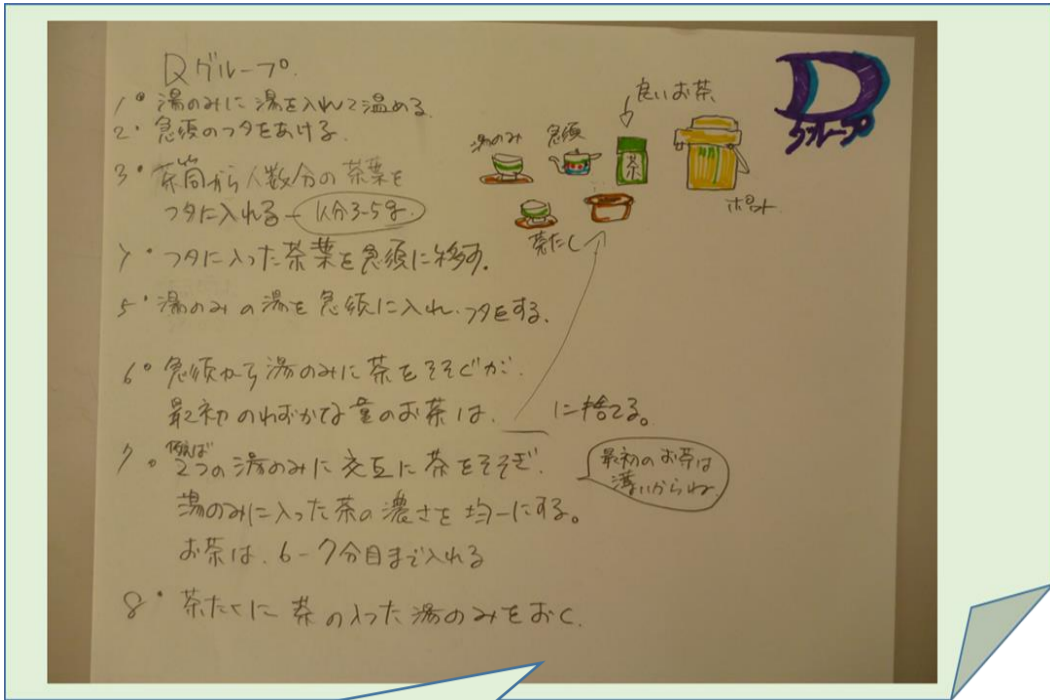
副菜の位置は・・・？
お茶はどこ？
スプーンの位置は・・・？

同じ日本人でも、グループにより、考え方の違いがありました！！



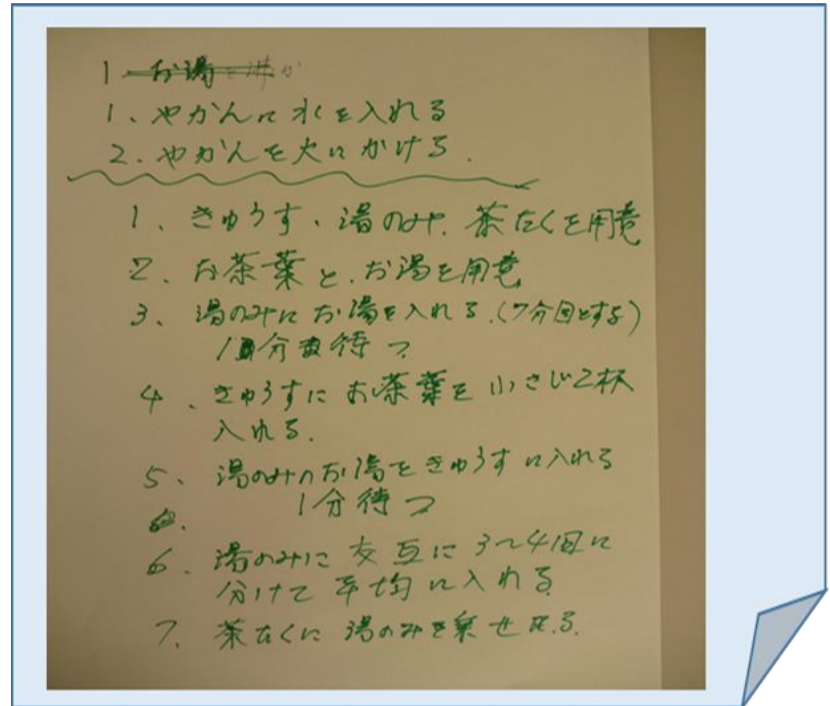
グループワーク その2

～お茶の入れ方（行動）を分解して書き出してください～



日頃、無意識でいれているお茶。
説明すること・伝える事の難しさを実感……。

どんな言い方をすると、みんながお茶をいれられるだろうか？



お茶の入れ方 説明ポイント

日本人の当たり前は通じない。

あいまいな表現を避け、数値化・可視化することが大切。お茶に限らず、仕事の指示は具体的に！！

グループワーク その3

～死後の世界 魂はどこに行く？～

死後の世界は、国や宗教により全く違う。個人の亡くなり方は、人生の生き方を象徴。

また、宗教を持つ人たちの文化背景は言葉では伝えきれないもの。生活の中の経験が、その人の人生を作り出している。

6. 研修後アンケート結果から

- ：実際に技能実習生を受け入れている施設として、改めて学び直すことがあり、明日から改めて対応していこうと思います。
- ：外国人への指示の出し方、MORSの法則は外国人に限らず日本人同士でも職場でのコミュニケーション・教育に有効だと感じました。
- ：他の施設の方との意見交換ができて良かった。
- ：外国人介護人材の受け入れへの取り組みは、自らを振り返り、介護の質を高め保つ事に直結していると思う。
異文化を理解する取り組みは多様性を認めあえる豊かな社会に繋がっていると思う。
お互いに学び合うことで、お互いが成長できるような気がします。
- ：同じアジア圏でも知らないことがたくさんあると改めて感じました。
知らないことを前提に見える化・数値化することが伝えていく上でとても大切なことだと思いました。
そして伝える事に関しては日本人同士でも同じことが言えると気づきました。お互いの文化の違いを踏まえた対応をしていきたいと思います。
- ：日本語教育・日本文化教育・生活支援について具体的にどのように進めていくのか行政・学校・事業所で連携をとれる体制を作る必要があり、次年度に向けて進めてほしい。
- ：外国人材の受け入れはいいことだと思うが、基本日本のことは日本だという姿勢は必要だと思います。
人材確保を外に求めるばかりではなく、日本の人材がこの職場に入るよう身分の保証（給与のアップ）が必要だと思います。
- ：視点の持ち方・指導方法について学びとなる事が多かった。 (抜粋)

▶本日の研修を受けて、より深く知りたい項目

- ：技能実習生が日本にとけこむ日本文化の講座を企画してほしい。是非参加したい。（各法人単位では講師の依頼等難しいため）
- ：外国人実習生にも出席してほしい。お話を伺いたい（2事業所）
- ：国ごとの習慣の違いなどが具体的にありとより理解が深まるかと思えます。
- ：外国人実習生を受け入れてどんなことがカルチャーショックだったか具体的にそれぞれの事業所ごとに教えてほしい。
- ：介護に必要な用語など分かりやすく伝える方法。伝え方のシート作成など。
- ：見えない文化についてより知りたいです。
- ：受け入れている施設の工夫している所・失敗も含め現状を知りたい。
- ：第3回もよろしくお祈りします。 (抜粋)